

県酪だより

K E N R A K U D A Y O R I

2026

2

vol.338

新春初セリ開催!

銘柄「福島牛」の生産体制確立をはかろう

全農福島県本部

県酪王牛乳組合員視察会



TOPICS

- ・ 浪江町大規模酪農施設 2~3
(シャインコースト(株)) 組合員視察会
- ・ 令和7年度ひまわりコンクール優秀作品決定 6~7

浪江町大規模酪農施設 (シャインコースト株) 組合員視察会



一月二十九日(木)と二月五日(木)の二日間、浪江町大規模酪農施設組合員視察会を開催しました。一回目は七十四名(職員含む)、二回目は七十六名(職員含む)の計一五〇名が参加しました。

平成三十年四月より、行政・関連団体と連携して準備を進めてまいりました浪江町大規模酪農施設が、いよいよ令和八年四月上旬に浪江町からシャインコースト(株)に引き渡しとなり、その後、

牛を順次導入し晴れて開牧となります。本視察会は、牛が搬入される前には、牛舎・付帯設備全てを組合員の皆さまへご披露すべく企画させていただきました。

組合が想定していた以上の参加者数からみても、この牧場に対する皆さまの期待・興味が表れており、皆、広大な敷地内を終始真剣に視察されていたのが印象的で、施設毎に数多くご質問されました。

視察を終えて、「スケールが大きすぎて圧倒された」「近代化酪農の最先端を見て良かった」「稼働しているロータリーパーラーを見たかった」…等、様々なご感想をいただきました。



スクリー式堆肥攪拌機



堆肥発酵舎

この牧場が、「復興のシンボル」、「被災農地の地力回復」、「県産生乳の安定確保（震災後の遺損乳量回復）」、「新規就農希望者・酪農後継者への技術サポート」、「組合員の誇り」となりえるよう、開牧に向け行政・関連団体一丸となって進めてまいります。



バイオガスプラント

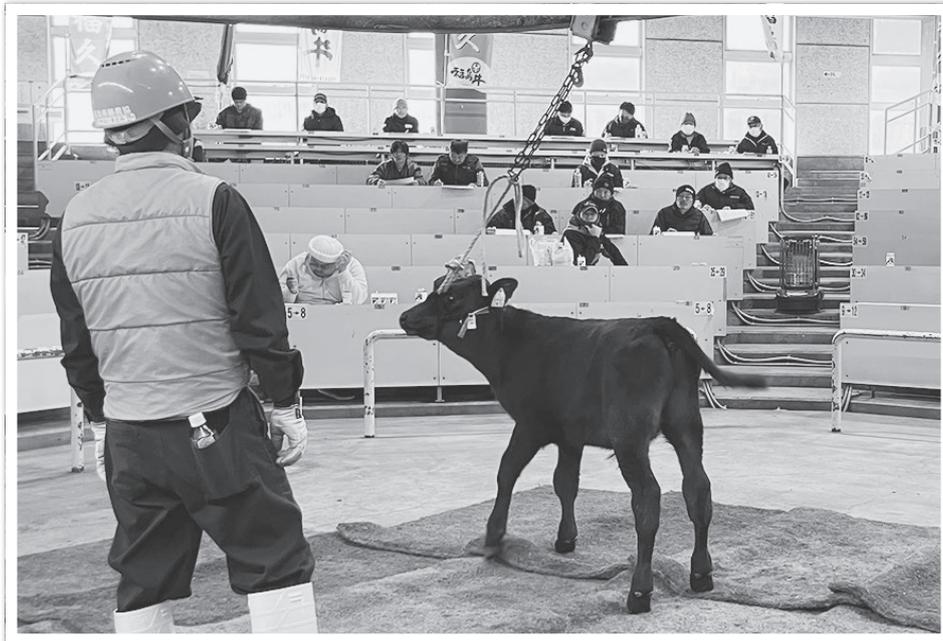


繋ぎ牛舎



ロータリー型搾乳ロボット

令和8年 福島県酪農業協同組合乳牛市場 新春初セリが開催されました！



1月14日(水)に福島県家畜市場（本宮市）で、令和8年 福島県酪農業協同組合乳牛市場新春初セリが多数の購買者・生産者にご参加頂き、開催されました。

主催者を代表して紺野組合長より新年の挨拶をされました。また、新春初セリを祝い、購買者を代表して國分農場(有)様による乾杯のご発声を頂き、消費拡大として、『酪王牛乳』で乾杯致しました。

その後、初生牛222頭、初妊牛10頭、雌子牛6頭がセリで販売され、和牛受精卵産子を中心に昨年と同様、高値で取引されました。

厳しい情勢下ではありますが、浪江町のシャインコーストも春から本格稼働して参ります。これからの明るい未来を信じ、今後とも生産者・購買者の皆様にご満足頂けるよう、より良いセリ市場を運営して参りますので、今後も宜しくお願い致します。



福島県酪農研究部視察研修会・懇親会

令和8年1月20日(火) 蔵王酪農センター

福島県酪農協酪農研究部（会長・安齋洋志）主催の視察研修会・懇親会を令和8年1月20日(火)宮城県蔵王町の蔵王酪農センターにて開催、13名が参加しました。

施設到着後、同施設の理事・管理部長の笠原さんが出迎え、安齋会長から視察のお礼と挨拶を頂きました。

牛舎に移動後、担当課長の川村さんからロボット搾乳の説明が始まり、現在100頭いる乳牛の中で、ロボット搾乳に対応する牛は約50頭程度。搾乳する牛は誘導されることなく、牛がセルフで搾乳機械に入り、搾乳後自動で開けられた扉から出ていき、次の牛が搾乳ロボットへ入る流れです。基本的に朝夕2回の搾乳ですが、牛任せなので中には3～4回搾乳する牛もいるとのこと。その他の牛については職員が誘導し朝夕2回搾乳します。

次に牛舎内の寝床について説明があり、おがくずやもみ殻を発酵熱によりほぼ敷いたままの状態（深さ50cm）でほぼ入れ替えしないとのことです。悩みとしておがくずを確保する置き場所がなく、まとめ買いができないとのこと。今の季節は降雪などで湿った状態であり牛体もかなり糞尿による汚れが気になりましたが、川村課長の説明では5月ごろにはカラッとした気候となり、おがくずなども乾燥し水分がないため、糞尿等が付着せず汚れもあまりないそうです。

会員の質問として「発酵床は夏場牛が寝ずらくないか?」「削蹄はどのくらいの頻度で行いますか」の問いに川村課長「寝床に関し牛は嫌がる牛はほとんどいないです」「削蹄は年に2回程度。できれば3回は行いたい」と説明。「エサは自前ですか。管理の人数は何人程度ですか」川村課長「概ね自給で賄いますが、一部購入しています。人員は常時2～3人ですが、牛舎内管理と餌などは別の人員で対応しています」と説明。会員らは意欲的に質問し、川村さんの説明を聞いていました。視察後半に「餌寄せロボット」を会員が見つけた是非動いているところを見たいと川村課長にお願いしました。川村課長にロボットを稼働して頂き、飼槽から離れた飼料を寄せていく工程を見学しました。

視察終了後、センター内にあるチーズ工房で作られた商品を扱う販売ブースを見て回り、様々な商品を見定めお土産として全員が売り上げに貢献しました。

その後懇親会場にてハンバーグ、ドリア、ピザ、ナポリタンなど全てにチーズがメインとなっており、見た目にも食欲をそそる一皿でチーズのコク、旨味が盛り込まれた料理を会員らは堪能しました。

次回も会員らが興味のある案件を視察し見聞を広めて頂ける視察研修会に努めます。



福島県酪女性部やまびこ会 主催 令和7年度ひまわりコンクール



ひまわりコンクールの部 最優秀賞
佐藤 恵美さん (県中)



酪農生活の部 最優秀賞
題名「牛さんいっぱい食べてね♡」
福田 祐子さん (県中)



ひまわりコンクール審査会

福島県酪女性部やまびこ会（会長 斎藤 麻貴子）では、毎年、畜舎環境美化運動を実施しており、去る1月26日(月)福島県酪農業協同組合において、畜舎環境美化運動の成果を披露する、令和7年度のひまわりコンクール審査会が行われました。昨年度に引き続き、畜舎周辺の美化を目指し、牛舎まわりが写っていることを条件とした「ひまわりコンクールの部」と乳牛のいる風景や酪農作業風景が鮮明に伝わる「酪農生活の部」の2部門での開催となりました。

暑さ、寒さが厳しい中、皆様の丹精込めて育てた努力の成果がうかがえました。

審査の結果、『ひまわりコンクールの部』最優秀賞に佐藤恵美さん、ひまわり賞に味戸巴子さん、『酪農生活の部』に福田祐子さんの作品が選ばれました！

ご応募頂きました皆様、ありがとうございました。



ひまわりコンクールの部 ひまわり賞
味戸 巴子さん (県中)

全酪連の小窓 2月号 ～酪農経営管理支援システムについて～



年度末に近づき、申告の作業が増えてくる時期かと思えます。1年間の酪農経営成績が数字として示されることで、課題の抽出や来期の方針を決めることができます。今月はその際に役立てることのできるDMSシステムについてご紹介します。

全酪連のDMS事業の紹介

全酪連の行う酪農経営支援事業として、酪農家経営管理支援システム（Dairy-farm Management Support System）通称DMSシステムがあります。

主に行う内容は以下の4点です。

- ▶ **決算書作成支援：** 酪農家の経営状況を厳密に知る
会計ソフトの入力支援・記帳代行の請負・税理士紹介
- ▶ **経営診断・経営計画作成支援：** 酪農家の将来に寄り添う
- ▶ **経営指標の発信：** 公共性を高める
- ▶ **スポットの経営相談：** 酪農家との絆を深める
経営継承・法人化・投資など

DMSシステム集計から見た2024年までの酪農経営環境

表1では、DMSシステム利用者（91～100戸）の21年～24年までの経産牛1頭当たりの収入と支出平均の推移を示しました。24年は乳価値上げやセリ相場の上昇が総収入を押し上げた一方で、助成金の減少や動力光熱費の上昇がマイナス影響を与えています。

表1	2021年	2022年	2023年	2024年	23-24年比
総収入	1,328,709	1,360,769	1,483,153	1,526,175	43,022
生乳売上高	1,021,257	1,038,543	1,169,327	1,218,072 ↑	48,745
肉用子牛売上高	132,960	112,878	78,099	90,070 ↑	11,971
廃用牛売上高	29,042	33,343	32,389	34,237	1,848
その他売上高	18,538	20,174	43,884	50,216	6,332
雑収入	126,912	155,831	159,454	133,580 ↓	-25,847
総支出	1,207,248	1,299,323	1,373,370	1,405,060	31,690
雇人費	41,601	56,475	46,538	46,073	-465
飼料費	580,412	663,441	707,075	717,155	10,080
診療衛生費	32,863	35,612	37,530	38,293	763
動力光熱費	54,236	56,756	58,884	63,110 ↑	4,226
共済掛金	35,497	27,634	31,249	31,051	-198
修繕費	42,586	36,142	43,801	44,212	411
支払利息	2,704	1,920	2,254	3,668	1,414
減価償却費	183,563	171,881	182,858	178,223	-4,635
その他経費	233,786	249,462	263,179	283,275	20,096

表2では経産牛1頭当たりの酪農経営の所得・酪農フリーキャッシュの収入の推移を示しました。国際情勢により、22年から著しく落ち込みましたが、24年の乳価値上げにより26年は20年同等の所得になると見込まれています。

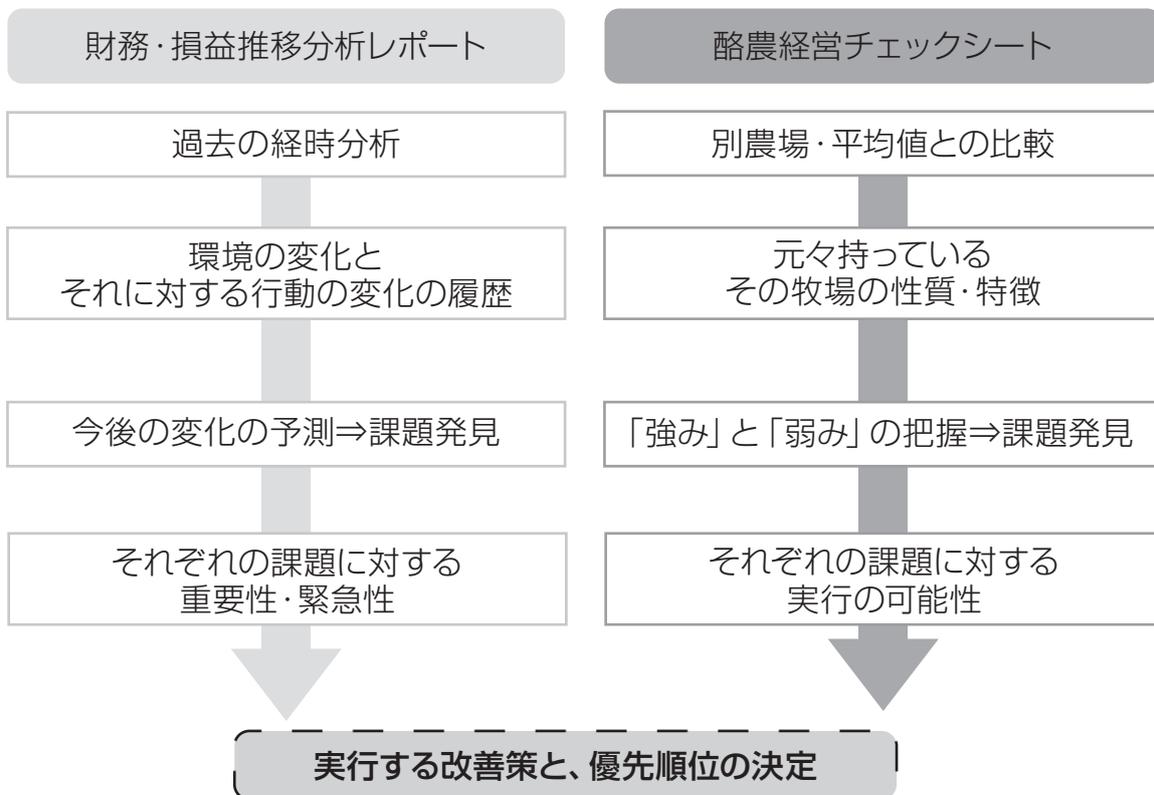
経営の余裕を持たせるためにはフリーキャッシュや可処分所得の増加が重要になります。

表2	2021年	2022年	2023年	2024年	23-24年比
家族所得	121,461	61,446	109,784	121,115	11,331
フリーキャッシュ	1,021,257	1,038,543	1,169,327	1,218,072	48,745
借入金償還額	132,960	112,878	78,099	90,070	11,971
キャッシュ残	29,042	33,343	32,389	34,237	1,848

所得（フリーキャッシュ）と売上・生産費・牛群動態の各項目で関連性を調べると、**飼料費の影響を経営的に評価するには、飼料価格そのものよりも乳飼比を重視する必要があること、牛群動態指標は、飼料費と同等かそれ以上に経営成績に影響を与えることが分かりました。**



DMSシステムでは、過去の実績と比べる財務・損益推移分析シートと他経営体と比べる酪農経営チェックシートの2つをもとに、将来の牧場経営の改善策のすくい上げ実行案の優先順位を決めることで牧場経営の改善を図っていくことができます。



ご不明な点がございましたら、全酪連スタッフや福島県酪職員へご相談ください！

ZENOAQ コーナー Vol.254



繁殖と栄養のお話 その3

〒963-0196

福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1

日本全薬工業(株) 福島営業所

TEL0120-452-464 FAX0120-661-255

今回のゼノアックコーナーは、繁殖と肝機能を栄養面から話題提供したいと思います。

酪農における繁殖と肝機能は密接に関連しており、肝機能の低下は性ホルモンバランスの乱れや卵巢機能の低下を引き起こし、結果として発情の遅れや受胎率の低下といった繁殖障害につながります。特に分娩後の高泌乳牛では、その1でも話題提供した負のエネルギーバランスにより、脂肪肝になりやすく、免疫力の低下やホルモン代謝への影響から、乳房炎などの疾病リスクも高まり、総合的な健康と生産性を損なうため、適切な栄養管理と肝機能の維持が重要となります。

肝機能低下が繁殖に与える影響

まずは、肝機能の低下が繁殖に与える影響からお話します。以下のような影響があります。

□ ホルモンバランスの乱れ

肝臓は性ホルモンの代謝（エストロゲンの分解と排泄）を担っており、肝機能が低下するとエストロゲンが過剰になり、繁殖障害を引き起こします。

□ 卵巢機能の低下

肝臓で作られるIGF-1（インスリン様成長因子-1）などが卵巢機能の回復に重要であり、肝機能低下によりIGF-1の生産が減ると、卵巢機能の回復が遅れ、発情回帰が遅れる原因となります。

□ 卵子の質の低下

肝機能が正常でない牛の卵子は質が劣るという研究結果があります。

まだほかにも肝機能が繁殖に与える影響はありますが、肝機能の低下は繁殖成績に大きな影響を与えることがわかります。

肝機能低下の原因は…

肝機能低下の原因を栄養の面から考えてみます。主な原因は以下の通りです。

◆ 脂肪肝

この連載のその1で触れました、分娩後の負のエネルギーバランスで足りないエネルギーを補うために体脂肪が動員されます。

しかし、この脂肪の動員が肝臓の処理能力を超えると、中性脂肪として肝臓に蓄えられます。こうして脂肪肝となった肝臓はその機能が低下します。高泌乳の牛で特に問題となっています。

◆高タンパク質飼料

給与した飼料タンパク質の大部分は第一胃（ルーメン）内の微生物により、ペプチド、アミノ酸、アンモニアへ分解され、これらは、糖、デンプンなどのエネルギーによって微生物タンパクに合成され乳中タンパク質へ変換し移行します。

ただし、アンモニアのすべてが利用されるのではなく、高タンパク飼料の給与により大量に生産されたときや、合成に必要なエネルギーが不足した場合は体内で吸収されます。このアンモニアは動物にとって非常に毒性が強いので、肝臓で尿素に解毒されます。この作業の連続が肝臓に負担を

かけ、結果として肝機能を低下させるといわれています。（図-1）

余分な血中尿素は牛乳中にMUN（乳中尿素態窒素）として移行します。

乳検や旬報でよく見る数値だと思えます。

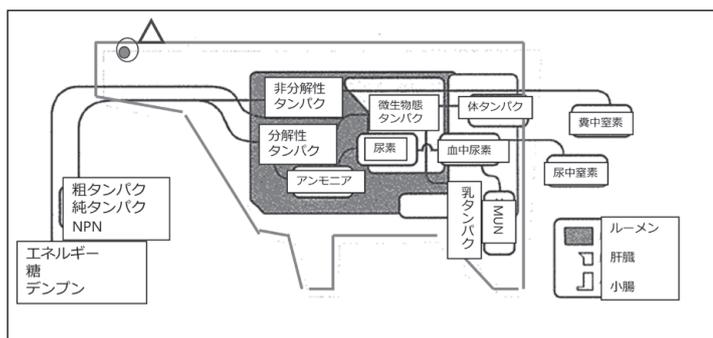


図-1

MUNをどう考えるか…

脂肪肝の対策は、負のエネルギーバランスが大きな要因であることはVol252でお話したので、ここでは割愛します。

乳牛の肝臓に少しでも負担をかけないためにもMUNの数値は注視しなければなりません。ただ、MUNについては多くの報告があるにもかかわらず、いまだに基準値が明らかになっていません。それは、牛の体は大きく個体差（泌乳ステージや乳量、産歴など）があるからです。

MUNは、飼料中のエネルギー（TDN）とタンパク（CP）のバランスを予測する指標として用いられます。たとえば、TDNが高くCPが低い時はMUNが小さな数値で、逆にTDNが少なくCPが多くなるとMUNが高くなります。高タンパク飼料の多給が肝機能に負担をかけるのは後者の事例となります。

ここで注意しなければならないのが、MUNが高かった、低かったと一喜一憂しないことです。

上述したように、MUNは個体差があり、バルク乳では個体の数値が正確に反映されません。また、餌のバランス以前に、牛がちゃんと餌を食われているか、給与タンパクの種類、餌の給与順序により数値は大きく変動します。そういった意味で、MUNだけで判断することなく、牛から発せられるサイン（乳房の色や張り、糞、毛づや、飛節や蹄）を読み取りトータルで判断すべきです。農場ごと、調子のよかった時期のMUNを指標として急に大きく数値変動があったときにはその時に何があったのかを推測する材料とすればいいと思います。

今回までは、繁殖とそれにまつわる栄養をテーマにしてお話してきました。大変奥が深く多岐にわたる分野ですが、少しでも参考になれば幸いです。 〇

参考文献：「乳」からのモニタリング 田中義春 著

令和7年度12月別支払乳価表

今月のプール乳価・補給金・集送乳調整金を含めた支払乳価は、131円88銭3厘で前年より3円10銭9厘上回る単価となりました。

生乳取引価格については、令和8年4月1日取引分からは学乳向け4円/kgの値上げが予定されております。

- 東北全体プール乳代金 4,519,016千円 単価130.009円
- 内 福島県分プール乳代金① 433,657千円 単価130.009円
- プール対象外乳代金② 146,484千円
- (学乳向け・買取向け乳代金)

合計乳代金①+② 580,141千円 単価134.300円

項目	令和7年12月	前年同月	増減	前々年同月
プール乳価	129円859	127円021	2円838	127円124
補給金単価	1円557	1円348	0円209	1円296
集送乳調整金単価	0円467	0円405	0円062	0円395
合計	131円883	128円774	3円109	128円815

(注) 上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

(東北全体12月)

用途別	販売乳量(ト)	日量(ト)	前年比(%)	シェア(%)	前年度シェア
飲用向け	23,170	747.0	94.7	63.0	64.7
加工向け	5,417	175.0	112.6	14.7	12.7
学校給食向け	2,029	65.0	101.9	5.5	5.3
醗酵乳向け	5,235	169.0	95.1	14.2	14.6
生クリーム向け	808	26.0	94.2	2.2	2.3
チーズ向け	129	4.0	90.0	0.4	0.4
合計	36,789	1,186.0	97.4	100.0	100.0

備考 1) 買取乳量を除く

団体別受託乳量の状況

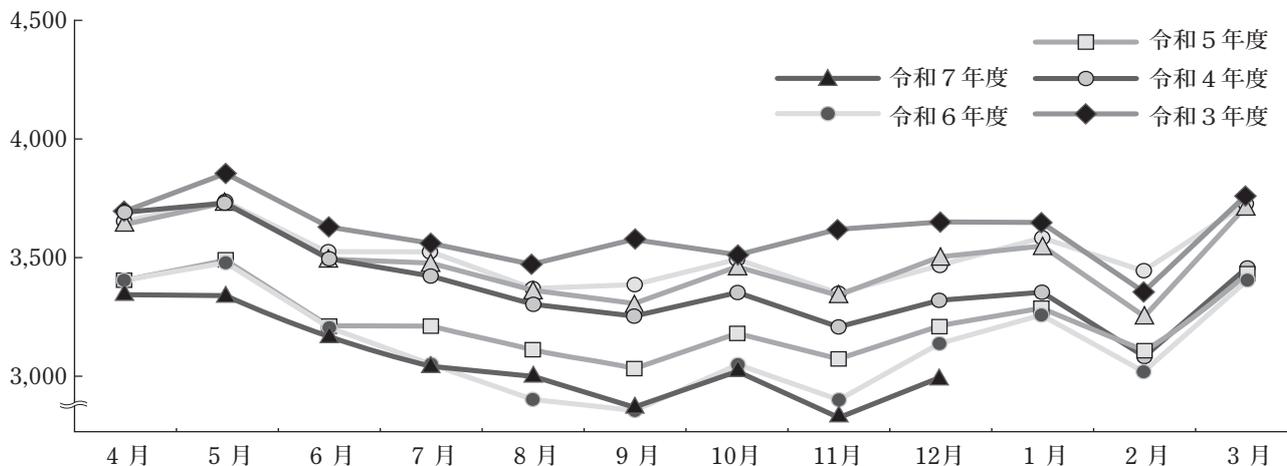
北海道：100.3%、都府県：99.3%

団体名	12月分		
	受託乳量(ト)	日量(ト)	前年比(%)
県酪協	2,991	96.5	95.2
全農福島県本部	1,317	42.5	92.4
合計	4,308	139.0	94.3
東北生乳販連	36,789	1,186.7	97.4
全国	569,761	18,379.4	99.9

月別受託乳量 県酪協 (トン)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和3年度	3,693	3,859	3,629	3,599	3,564	3,486	3,578	3,515	3,619	3,652	3,353	3,760	43,307
令和4年度	3,691	3,733	3,494	3,434	3,305	3,255	3,354	3,210	3,324	3,355	3,088	3,456	40,699
令和5年度	3,407	3,492	3,217	3,217	3,117	3,037	3,185	3,070	3,235	3,298	3,155	3,454	38,884
令和6年度	3,405	3,480	3,206	3,058	2,981	2,897	3,078	2,990	3,141	3,266	3,034	3,416	37,952
令和7年度	3,359	3,444	3,181	3,046	3,001	2,916	3,033	2,880	2,991				
前年比%	98.6	99.0	99.2	99.6	100.7	100.7	98.5	96.3	95.2				

単位・トン



令和7年度受託乳量の状況

令和7年12月の受託乳量は、県全体で前年比94.3%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が2,991ト、前年比95.2% (対前年同月150ト減)、全農県本部は1,317トの対前年比

92.4% (対前年同月109ト減) の実績でありました。

東北生乳販連の受託販売実績については、前年比97.4%となりました。

なお、全国の実績は対前年比99.9%となりました。

令和7年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

東北全体の用途向け販売数量は、前年比で加工向けが112.6%、学校給食向けが101.9%と上回り、飲用向けが94.7%、醗酵乳向けが95.1%、生クリーム向けが94.2%、チーズ向けが90.0%と下回って推移しました。引き続き、福島県産牛乳・乳製品の消費拡大にご協力をお願い致します。

今年度に入ってから生乳廃棄事故発生件数（R7.12.31時点）で集乳車廃棄事故が5件（5月2件、7月2件、12月1件）となっております。また、バルククーラー廃棄事故が4件（5月1件、7月2件、8月1件）となっております。事故原因として、スイッチ入れ忘れ、血乳混入等が挙げられます。皆様に再度確認して頂きたいことは、生乳生産管理チェックシート

の記帳と確認の徹底、乳房炎・乾乳軟膏治療牛のマーキング・隔離の徹底による抗生物質誤混入の防止、洗浄水混入防止、牛舎退出時にバルククーラーの乳温再確認・スイッチ入れ忘れが無い確認、ストリップカップを使って前搾りで血乳・乳汁ブツの確認、洗浄時にバルク排乳コックやミルクロー等搾乳部品に乳石付着が無い確認、ご協力の程宜しくお願い致します。

なお、4月から稼働開始した今月の酪王協同乳業（本宮工場）の生乳使用量は日量平均100.6トﾝ（前年比-）で、県全体生産量の72.4%の処理量となりました。

1. 年次別・月別支払乳価一覧（補給金・集送乳調整金を含む）

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
令和7年度	128.424	128.905	132.067	131.787	133.331	136.391	135.915	134.375	131.883				
令和6年度	128.759	130.057	132.319	131.084	130.136	133.294	132.236	132.474	128.774	129.667	130.399	127.569	130.564
令和5年度	120.673	121.861	122.643	121.705	129.935	133.579	132.503	131.554	128.815	130.032	130.533	127.295	127.594
令和4年度	109.973	110.973	112.420	111.282	110.437	112.872	112.484	120.128	117.186	118.965	119.149	116.514	114.365
令和3年度	110.502	111.609	113.060	111.724	110.197	112.507	112.537	112.319	109.640	110.594	110.503	109.010	111.184

乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

令和7年12月31日現在

地区	酪農家戸数			乳牛頭数									
	戸数	前年度戸数	前年比	育成	初妊	経産牛				合計	前年度頭数	前年比	1戸当り頭数
						乾乳妊娠	妊娠搾乳	空胎搾乳	小計				
県北	戸 19	戸 22	% 86.4%	頭 457	頭 131	頭 154	頭 331	頭 700	頭 1,185	頭 1,773	頭 1,781	% 99.6%	頭 93.3
県中	41	43	95.3%	233	98	170	279	599	1,048	1,379	1,459	94.5%	33.6
浜	6	6	100.0%	106	45	18	51	124	193	344	335	102.7%	57.3
県南	27	29	93.1%	505	210	225	416	988	1,629	2,344	2,356	99.5%	86.8
合計	93	100	93.0%	1,301	484	567	1,077	2,411	4,055	5,840	5,931	98.5%	62.8

地区	月別分娩予定頭数							販売乳量				
	令和8年1月	令和8年2月	令和8年3月	令和8年4月	令和8年5月	令和8年6月	令和8年7月	生乳出荷戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
	1日当り	1日1戸当り	搾乳牛	経産牛								
県北	頭 103	頭 87	頭 87	頭 81	頭 66	頭 79	頭 113	戸 19	kg 29,223	kg 1,538	kg 28.3	kg 24.7
県中	108	64	74	67	41	49	144	41	21,966	536	25.0	21.0
浜	23	13	11	13	11	16	27	6	5,199	867	29.7	26.9
県南	148	113	128	97	95	114	156	27	40,210	1,489	28.6	24.7
合計	382	277	300	258	213	258	440	93	96,598	1,039	27.7	23.8

第363回 県酪協乳牛市場成績

令和8年1月14日開催

購買者数 26名(うち県外10名)

畜種	雌雄	成立数 (成立率)	最高価格 最低価格	平均価格 (前回比)	平均体重 (前回比)	平均単価 (前回比)
ET和牛	メス	18 (100)	475,000 271,000	428,222 (99)	107 (107)	4,021 (93)
	雄	38 (100)	693,000 230,000	533,553 (97)	116 (110)	4,588 (87)
乳牛	メス	2 (100)	1,000 1,000	1,000 (100)	51 (104)	20 (100)
	雄	36 (100)	87,000 1,000	48,194 (77)	73 (95)	662 (82)
交雑牛	メス	57 (98)	232,000 61,000	162,298 (89)	71 (99)	2,286 (90)
	雄	70 (100)	262,000 105,000	187,443 (91)	79 (103)	2,366 (88)
初妊牛		10 (91)	667,000 400,000	558,900 (109)		
搾乳用雌子牛		6 (100)	286,000 211,000	242,000 (109)		

価格：円(落札価格) 率・比：% 体重：kg

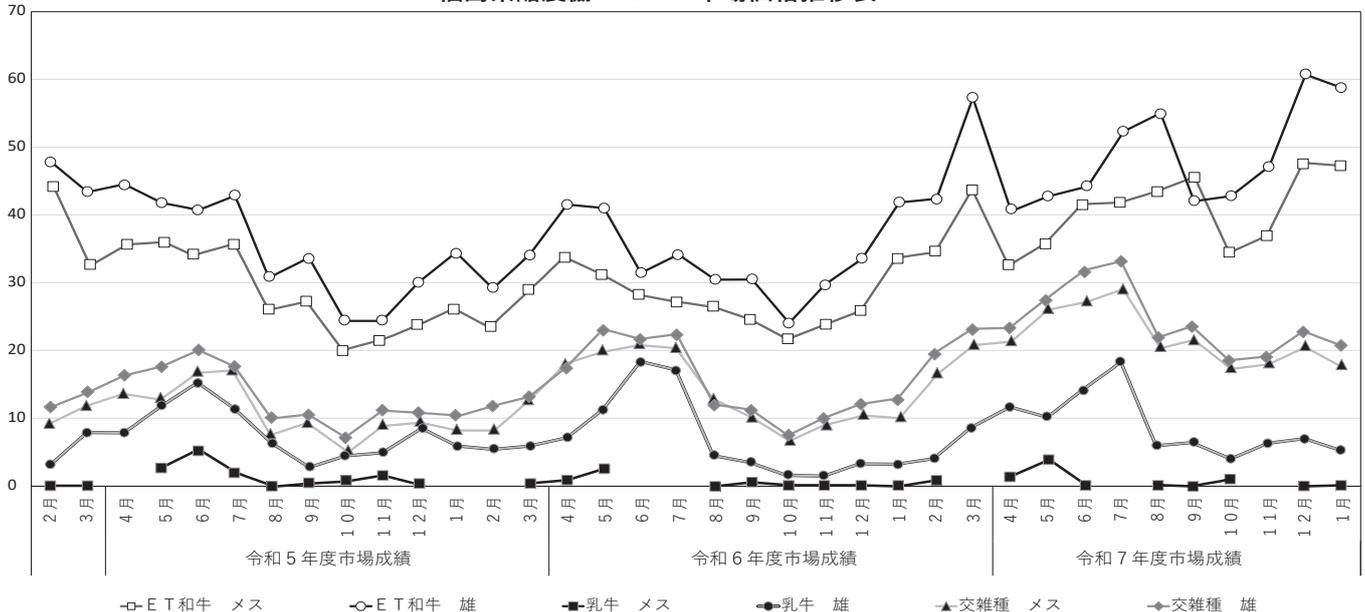
価格帯別分布表

(0は0.1~0.9万円、1は1.0~1.9万円、以下同様。尚、落札価格です。)

畜種	雌雄	価格帯(万円)																											
		45<	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69			
ET和牛	メス	16	1	1																									
	雄	7	1	4	1			1		1	1	2	1	2	3		4	1	1	1		2	1	2	1	1			
乳牛	メス	0<	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24			
	雄	1	4	2	5	9	4	1	7	3																			
交雑牛	メス	<5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29			
	雄						1			2	3	8	8	5	3	9	14	13	2	1			1						
初妊牛	メス	<40	41	42	43	44	45	46	47	48	~	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66			
	雄	1					1			1		1				1		1				2				2			
搾乳用雌子牛	メス	<5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29			
	雄																	1	1	1	1	1				1			

単位：万円

福島県酪農協スモール市場価格推移表



組 合 の 動 き 1 月

1月14日	乳牛せり市場	1月27日	経営検討会
1月15日	東北生乳販連事業推進委員会	1月27日	全酪連監事会・理事会
1月20日	県酪農協酪農研究部 視察研修会	1月28日	県乳牛改良推進協議会理事会
1月22日	浪江町大規模畜産施設役員視察研修会	1月29日	シャインコースト(株)組合員視察会
1月22日	日本酪政連福島県支部連合会三役会	1月30日	辞令交付式
1月22日	第9回理事会	1月30日	酪青連役員会
1月22日	東北生乳販連理事会	1月30日	県酪農協酪農研究部役員会
1月23日	県乳牛改良推進協議会幹事会	1月30日	(一社)全国畜産配合飼料価格 安定基金理事会・評議員会 (WEB)
1月26日	(株)らくのう乳販取締役会		
1月26日	県酪女性部やまびこ会 ひまわりコンクール役員会		

理 事 会

第9回 令和8年1月22日

議 案

- 第1号議案 子会社に対する運転資金の貸付について
 第2号議案 役員賠償責任保険の更新について

報告事項

- (1) 畜産高度化支援リース事業の貸付申請について
 (2) 令和8年度理事会の日程について
 (3) 今後の日程について

令和7年度異動等辞令交付

◆退職者（令和8年1月31日付）

氏 名	事 由	所 属
大 槻 咲 弥	依 願 退 職	生産部生産指導課

ぷかぷか三春駒 販売先の訂正について

※1月号の県酪だよりに掲載しました「ぷかぷか三春駒」の販売先について訂正いたします。

本商品は、JAタウン「酪市酪座」内にて販売しております。

詳細は、QRコードよりご確認ください。



令和7年度 海外酪農研修助成事業 「ロイヤル・ウィンターフェア視察と カナダ酪農視察研修6日間」へ参加!!

令和7年度海外酪農研修助成事業において、11月11日(火)～16日(日)6日間の日程で、(一社)全国酪農協会主催の「第29回 ロイヤル・ウィンターフェア視察とカナダ酪農視察研修」が開催されました。当組合からは、県北地区（福島県酪農協酪農研究部所属）の椎谷健一さん、美保さんご夫婦が参加致しました。

この度、海外酪農視察研修を終えた椎谷さんご夫婦より報告を頂きましたので、掲載いたします。海外の酪農事情を実際に見て・感じる事ができる貴重な研修で、毎年参加者の募集を行っております。(新型コロナウイルスの影響により、令和2～5年においては視察研修については開催がありませんでした)来年度も募集しますので、海外の酪農を見てみたい方はぜひご参加ください。

ロイヤルウィンターフェア視察とカナダ酪農視察研修 椎谷 健一 椎谷 美保

第52回全国酪農青年女性酪農発表大会において、意見・体験発表の部で発表させていただいたことをきっかけに、ロイヤルウィンターフェア視察・カナダ酪農視察研修に参加させていただきました。

海外視察は、私たちにとって以前から実現したいと考えていた目標のひとつでした。出発前から期待に胸を膨らませ、カナダの先進的な酪農現場で学びを得て、自分たちの酪農経営や日々の仕事に活かすことを楽しみにしていました。夫と共に新しい経験を積むことができたこの機会は、私たちにとってかけがえのない時間となりました。

本レポートでは、視察を通して私たちが感じたことや学びを、旅の思い出と共にお伝えしていきたいと思えます。

《カナダ入国》

第51・52回全国酪農青年女性酪農発表大会の発表者5名とそのご家族、組合職員など、総勢21名が羽田空港に集合しました。

出発前には第3ターミナルの会議室で団結式が行われ、参加者全員が自己紹介を交わしました。団長である中村俊介全国酪農青年女性会議委員長からは、旅の安全と実りある視察を願う挨拶があり、期待を胸に出発しました。

飛行機は18時50分、定刻通りに羽田空港を離陸し、約12時間のフライトを経て、現地時間17時頃にトロント空港へ到着しました。

降り立った街は一面の銀世界。吐く息は白く、頬に触れる冷たい空気が、異国の地に来たことを実感させてくれました。空港近くのホテルでディナーを楽しんだ後、ダウンタウンエリアにあるホテルへと向かいました。

ガラス張りの高層ビルと歴史あるレンガ造りの建物が共存し、多様な文化が自然に溶け合うトロントは、さまざまな人種や移民が暮らし、街全体が国際色豊かな空気に満ちています。

街を少し離れると、自然豊かな景色が広がり、お洒落な住宅街や紅葉に染まるカエデの街路樹、愛らしい黒リスの姿にも出会えました。



《牧場視察》

カナダの牧場を訪れるにあたり、まず理解しておきたいのがクォーター制度です。これは国が生乳生産量を管理する制度で、各酪農家には出荷できる量の上限が定められています。既存のクォーターの売買によってのみ生産量を増減できます。1頭あたりの増頭には約1000万円もの費用がかかるため、規模拡大には慎重な計画と大きな投資が必要です。この制度によって、酪農家は安定した生乳価格を確保しつつも、生産拡大や新規参入には大きな制約があることを理解して、視察に臨みました。

今回の視察で最初に訪れたのは、オランダ移民の歴史を持つボスデール牧場です。1948年にこの地へ入植し、1958年から牧場経営を始め、現在は4人兄弟とその家族による共同経営



が行われています。搾乳ロボット3台を備えたフリーストール牛舎とタイストール牛舎を併用し、経産牛約195頭を飼養しています。

牛舎に足を踏み入れた瞬間、まず感じたのは清潔感と明るさでした。白を基調とした牛舎には柔らかな光が差し込み、牧草の芳しい香りが広がっていました。牛たちは非常に穏やかで落ち着いた様子

を見せ、牛体も美しく、日常的に丁寧な飼養管理が行われていること、そしてアニマルウェルフェアへの深い配慮が伝わってきました。

ボスデール牧場では改良にも力を入れており、カナダでもトップクラスの成績を誇ります。現在、エクセレント90頭、ベリーグッド110頭、グッドプラス29頭を輩出していると伺い、実際に牛群を眺めると、体型の優れた牛が揃い、その佇まいには品格すら感じられました。

牛舎の中では、子供さんたちが無邪気に遊んでおり、その可愛らしい光景がとても印象的でした。棒つきキャンディを頬張りながら猫を抱きしめ、牛を撫で、敷料の砂が盛られた場所では宝物を探すかのように駆け回っています。

ご両親の働く姿を日常の一部として受け止めながら育つ子供さんたちの姿に、家族経営の酪農ならではの温かさを感じました。

酪農を続けるモチベーションは何ですか？との問いに、ジャスティンさんは微笑みながら次のように話してくださいました。

「家族のつながりが何より大切です。家族で担う方が経営面でも効率が良く、それぞれがオーナーであることで責任感も生まれます。この形態ですっと続けていきたいと考えています。」

その言葉から、家族が長年にわたって紡いできた思いや時間こそが、ボスデール牧場の歴史と誇りを支えているのだと感じました。牛群の素晴らしさに加え、家族が自然に関わり合い、変わらぬ形で経営を続けてきた姿は、まさに酪農の原点を示しているようでした。

私たち自身も家族経営で酪農に携わる者として、多くの共感と学びがあり、心からお手本にしたいと感じるとともに、深い尊敬の念を抱きました。



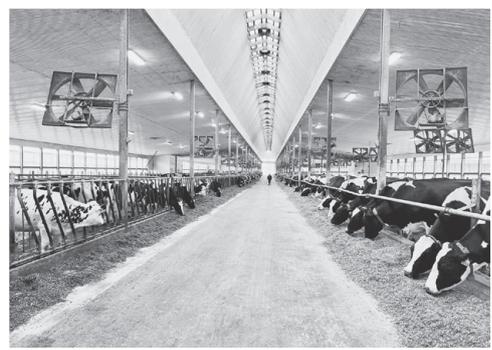
次に訪れたサミットステーション牧場は、1939年にチェコスロバキアから入植し、1947年に乳牛15頭から酪農を始めた牧場です。能力と長命性を重視した牛群づくりに力を入れており、現在、経産牛450頭、未經産牛550頭、合わせて約1000頭の牛を管理する大規模牧場です。

開放感のあるフリーストール牛舎では、牛たちがリラックスした様子で、たっぷりと与えられた飼料を美味しそうに食べていました。また、屋外のカーフハッチでは子牛たちが仲良く寄り添う可愛らしい姿も見られ、思わず笑みがこぼれました。

中でも印象に残ったのが、カウベルを身につけ、体に大きなハート模様を持つホルスタイン、ヴァレンタインちゃん



の存在です。スタッフのメリーさんが優しく顔を撫でながら「この子は私たちにとって特別な牛なんです。」と笑顔で話してください、ヴァレンタインちゃんへの深い愛情が伝わり、心が温かくなりました。



パーラーの横には行動指針が掲げられ、牛のニーズを最優先に考えること、アニマルウェルフェアを最も重要とする姿勢、関わる人々の成長、環境保全、地域社会への貢献といった理念が示されていました。これらの考えを従業員全員で共有し、日々の行動に落とし込むことで、価値観の統一と質の均一化が図られているのだと感じました。

併設されたお洒落なショップには、瓶入りミルクやフレーバー乳飲料、地域産の果物や野菜を使った加工品のほか、ヴァレンタインちゃんをモチーフにしたグッズやアパレルなど、魅力的な商品が並び、酪農と地域のつながりも感じられました。

最後に、牛と向き合う上で一番大切にしていること、そしてカナダにおけるアニマルウェルフェアについて、メリーさんにお話を伺いました。

「牛をよく見ることを大切にしています。牛の体調や行動、表情のわずかな変化にも注意を払い、健康や快適さをいち早く把握することです。そして、アニマルウェルフェアは牛と向き合う上で何より大切なことです。」と話してくださいました。

国の機関からは乳質だけでなく、アニマルウェルフェアが適切に守られているかについても指導があり、カナダ・プロアクションの取り組みがその基盤となっているそうです。制度や指導を活用しつつも、最も重要なのはスタッフ自身の目と心で牛と向き合うことだと強調されていました。

酪農家として深く共感する部分が多く、特にアニマルウェルフェアの考え方にに基づき、牛を大切に作る姿勢に心を打たれました。牛への思いや丁寧な仕事ぶりが随所に感じられる、素晴らしい牧場でした。

《アップーカナダチーズ工房、ナイアガラツアー、シャトー・デ・シャルム》

アップーカナダチーズ工房では、ガンジー牛のミルクからチーズが作られる様子を見学し、試食しました。濃厚で奥行きのある味わいから、牛の健康や土地の風土、職人の丁寧な仕事ぶりが伝わり、酪農と食文化のつながりを五感で感じる事ができました。



ナイアガラの滝では、轟音とともに流れ落ちる水の迫力に圧倒されました。飛んでくる水しぶきや滝の力強さに触れ、自然の偉大さを肌で感じる、忘れられない体験となりました。

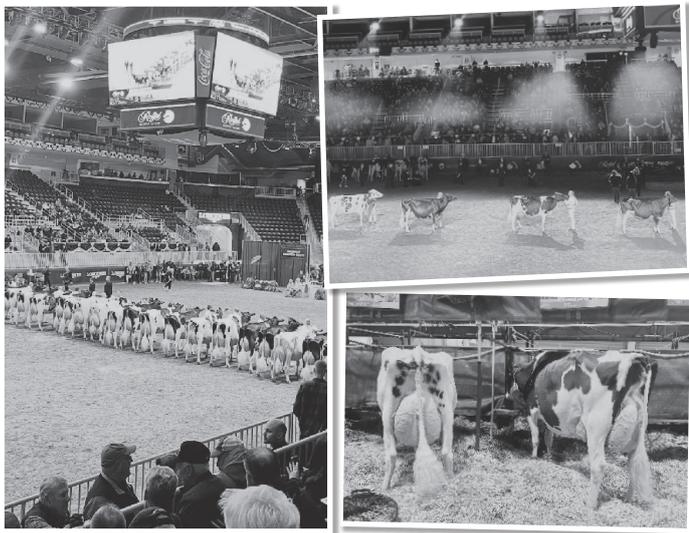
シャトー・デ・シャルムのワイナリーでは、氷点下の朝に自然に凍結した葡萄をそのまま圧搾して造られるアイスワインの試飲を体験しました。口に含んだ瞬間に広がる凝縮された甘みと芳醇な香りは、ナイアガラの大地が育んだ恵みそのものでした。

《ロイヤルウィンターフェア 2025》

ロイヤルウィンターフェアはカナダ最大級の農業展示会で、世界中から酪農関係者が集まる祭典です。この視察は私たちにとって心躍る体験でした。

グランドチャンピオン決定戦の会場を訪れた瞬間、リンクから立ち上る熱気と拍手の波に圧倒されました。照明に照らされ、音楽に合わせてゆっくりと歩く牛たちは、まるでランウェイのモデルのように堂々としており、毛艶や体型、歩様の美しさからは、丁寧な飼養管理の成果がひと目で伝わってきます。

バックステージでは、出品者たちが大音量の音楽をかけながら毛刈りや最終調整に励む様子を見学しました。酪農家自身の個性やスタイルも感じられ、自由で洗練されたカナダ酪農の文化を体感しました。



牛たちはまるでオーラをまとったショーモデルのようで、ブルブックから飛び出してきたかのような迫力に思わず息をのむ瞬間もありました。

この視察を通して、カナダでは酪農がカッコいい仕事として尊重され、酪農家が誇りを持って仕事に向き合う姿が文化として根付いていることを実感しました。牛を大切に、次世代へつないでいこうとする意志の強さ、仕事への誇り、牛への深い敬意を感じ、改めて酪農の素晴らしさを胸に刻む貴重な学びとなりました。

《帰国》

早朝8時、静かな街を後にしてトロント空港へ向かいました。約14時間のフライトを経て、夕方16時頃、無事に羽田空港へ到着しました。

たくさんの思い出と学びを胸に、それぞれが日常へと戻っていきました。

最後に、このような貴重な経験をさせてくださった全国酪農協会、全酪連、福島県酪、関係団体の皆様、そして素晴らしい時間を共有した参加者の皆様方に心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

酪王協同乳業
からのお知らせ

～50周年の感謝を、桜の香りにのせて～ 「酪王カフェオレ桜」

酪王協同乳業株式会社では、2026年2月23日（月・祝）より、今年50周年を迎える「酪王カフェオレ」に“桜”を加えた季節限定「酪王カフェオレ桜」を発売します。長年にわたりご愛顧いただいているお客様への感謝の気持ちを日本の春を象徴する“桜”に込めて、今だけの特別な商品としてお届けします。

酪王カフェオレのおいしさはそのままに、濃く美しい色合いと華やかな香りが特徴の八重桜「関山桜」の花から、丁寧に抽出したエキスを厳選して使用しました。やさしく上品で、春の訪れを感じさせる風味に仕上げました。

福島県内には、全国的にも知られる花見スポットをはじめ、魅力あふれる桜の名所が数多くあります。この春は満開の桜を楽しみながら「酪王カフェオレ桜」とともに、季節ならではのひとときをお過ごしください。



発売日：2026年2月23日(月)
発売地域：福島県内のスーパー、
コンビニエンスストアなど

規格：無脂乳固形分：5.7%
乳脂肪分：2.6%

『特派員報告』大募集

毎月、県内各地の情報を皆さまから提供いただき、共有していきたいと思っております。ちょっとした出来事、地域にあるお店の紹介などなど情報提供をお願いします。

連絡先

E-mail : info@fukuraku.or.jp
F A X : 0243-33-1103



『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由（ほっと(^o^)/する話題がいいですね）
◎文章だけでも結構です。
◎写真があると最高です。
2. 受付（常時受け付けしています）
メール・FAX・事務所経由・直接持参、何でもOKです。
E-mail : info@fukuraku.or.jp
F A X : 0243-33-1103

発行者 福島県酪農業協同組合 発行責任者 常務理事 岩谷 宏

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里壇17番地 TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103 URL <http://www.milk.fukushima.jp>